

# 4 (仮称)大戸広場 事業概要

東京都協議 10月～12月



町田市都市計画審議会 11月～1月



都市計画決定  
2月28日告示



町田都市計画緑地事業  
相原大谷戸緑地  
6月10日認可

# (仮称)大戸広場のコンセプト

## (仮称) 大戸広場テーマ

「森を守り、遊べる、学べる、癒されるみんなの広場」

## (仮称) 大戸広場基本計画基本方針

①自然保全の場として生物の移動を考慮し、既存樹林を保全する。

周辺のみどりの拠点、生物多様性の拠点となるよう、混植林、竹林、スギ林など緑豊かな計画対象地既存樹林を活用し、調和を図った緩衝緑地を配置する。

②交流の場として地域が共生する場所とする。

計画対象地の周辺には近隣住民が利用できる公園や広場が少ないため、みどり豊かな環境資源の中で様々な活動ができる空間を整備する。

③防災機能も有する場所とする。

計画対象地は広場として、火災時の延焼遅延の機能や、一時的な避難場所としての機能を有する場所として整備する。

④樹林特徴を活かした遊びの場とする。

計画対象地の大部分を構成している樹木地や草原を活用して、森の中で多様な活動が可能な遊びの場を整備する。地域交流イベントやアクティブに活動できる場以外にも落ち着いた空間を設ける。

⑤園内外の豊かな景観を楽しめる空間とする。

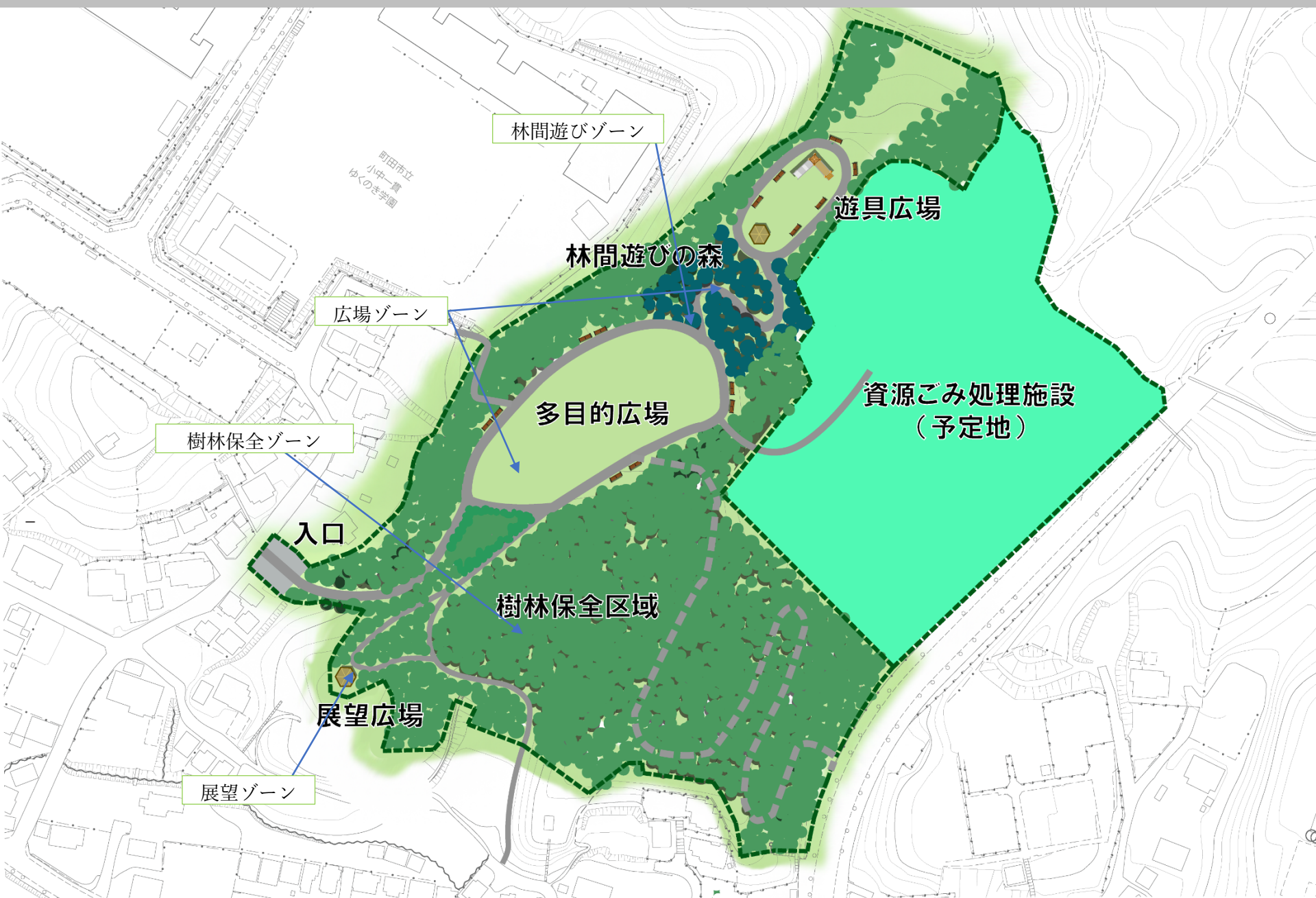
計画対象地の景観をたのしめる場として、景観スポット、園内ルート等の設定を行う。さらに、外の景観が見られる新たな眺望ポイントを整備し、区外の外の景色も楽しむことができるようにする。

⑥周辺みどりの拠点とする。

七国・相原特別緑地保全地区など、計画対象地周辺の特徴を生かして、フットパスと連携、地域の自然・歴史資源をつなぐ歩行者ネットワークの利用等、周辺みどりの拠点となるよう配慮し整備する。

# (仮称)大戸広場の概要

# (仮称) 大戸広場予定計画図



# 樹林保全ゾーン



## 樹林保全ゾーン

テーマ：自然系素材を利用した園路の整備、森林浴等、林を楽しむ空間

### 自然観察会

事例：武蔵丘陵公園  
園内を講師の解説を聞きながら散策する。春夏秋冬四季折々の自然や動植物の生態を楽しむ。



### 散策路

事例：三ツ目山公園(町田市)  
公園の中心から樹林の中へと小径が辿っている。



# 広場ゾーン



## Bゾーン（広場ゾーン）

テーマ：多様な遊びや地域の交流イベントの開催が可能な空間

### ピクニック

事例：陵南公園(八王子市)  
お店等の出店や、ワークショップ、自然の魅力を感じるガイドウォーク等を行う。



### マレットゴルフ

事例：野津田公園(町田市)  
毎週月～金曜日に、自主事業で行われている。





# 林間遊びゾーン



## Cゾーン（林間遊びゾーン）

テーマ：樹林の中での落ち着いた空間とアクティブな遊びができる空間

### ハンモック

事例：七沢森林公園(神奈川県)  
森林セラピーの一環として、林間でハンモック体験を行う。



### ツリークライミング

事例：大塚公園(文京区)  
毎年の恒例行事として、ツリークライミング体験教室を開催している。



# 展望ゾーン



## Dゾーン（展望ゾーン）

テーマ：周辺市街地とその背景となる山を眺望できる空間

### 街の展望台

事例：浅間山公園(府中市)  
浅間山公園は「関東の富士見百景」の一つで、展望スポットから富士山が見える。

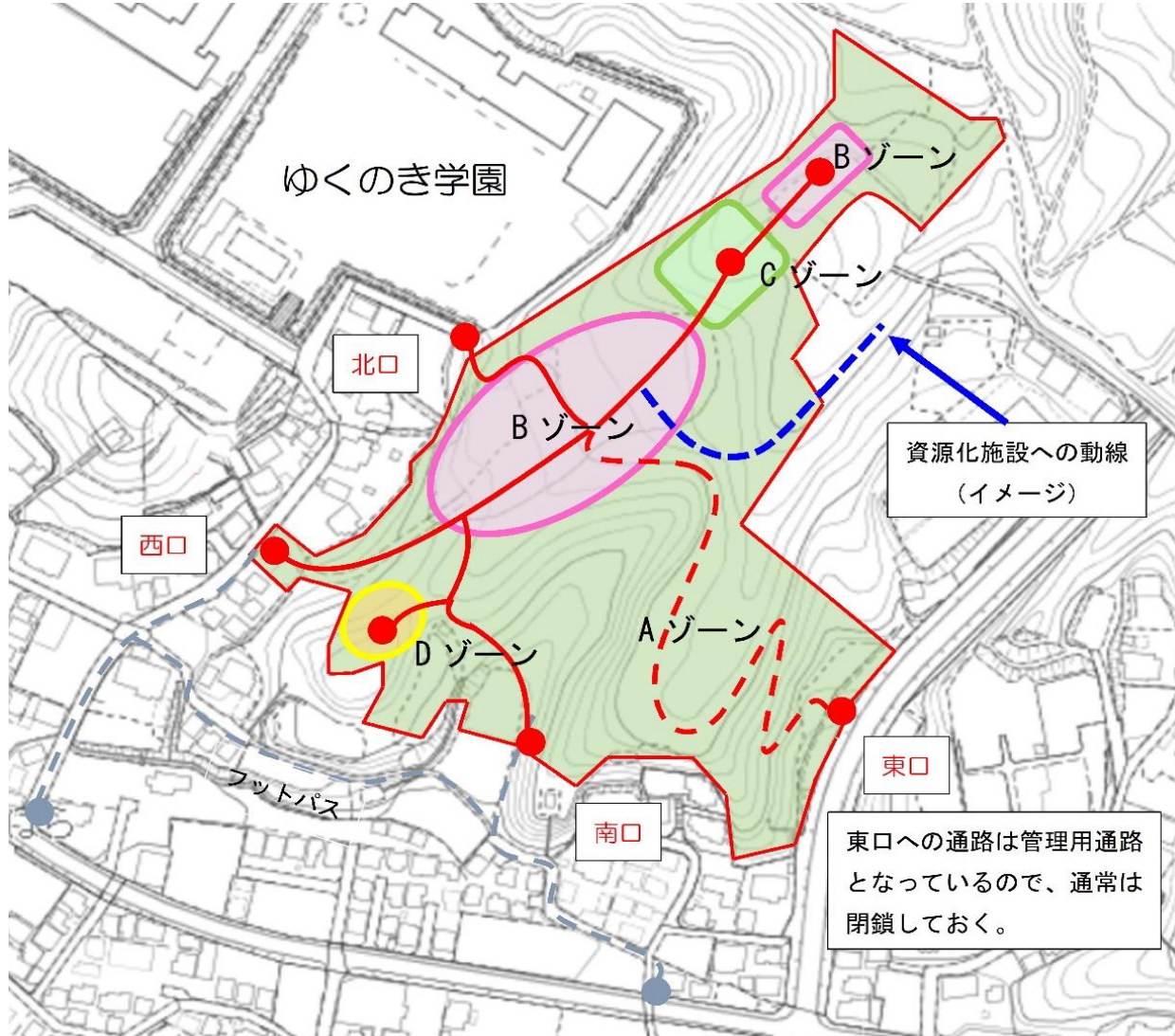


### 展望広場

事例：三ツ目山公園(町田市)  
展望できるスペースが芝生広場になっており、景色を見ながらご飯を食べたりできる。



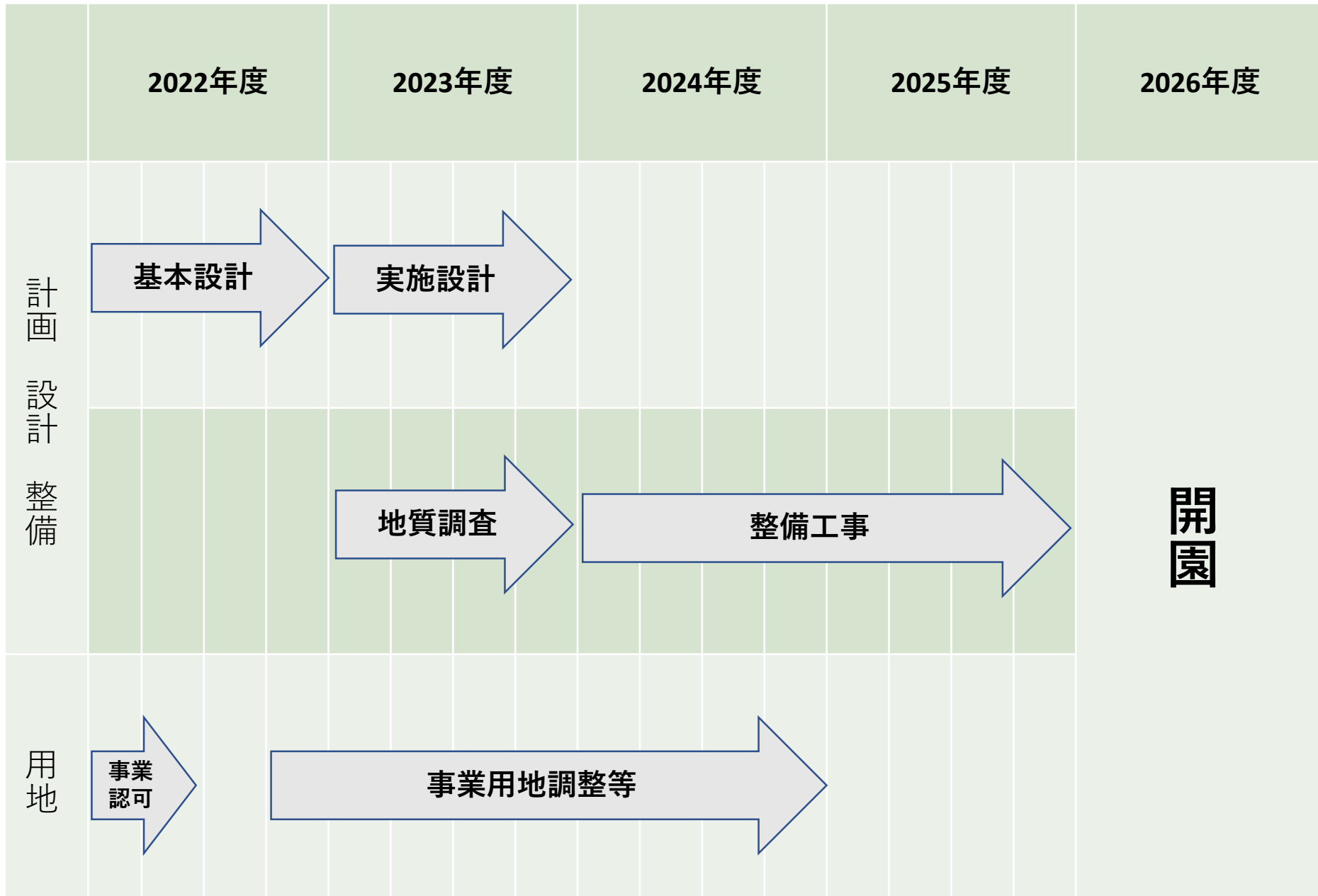
# 園内アクセスルート



(仮称) 大戸広場イメージ図



# 開園までのスケジュール



# 5 質疑応答

## 6 閉会の挨拶

ご清聴ありがとうございました